

小児感染症発生状況

小児感染症の第38週(平成20年9月15日から平成20年9月21日)の集計結果

コメント

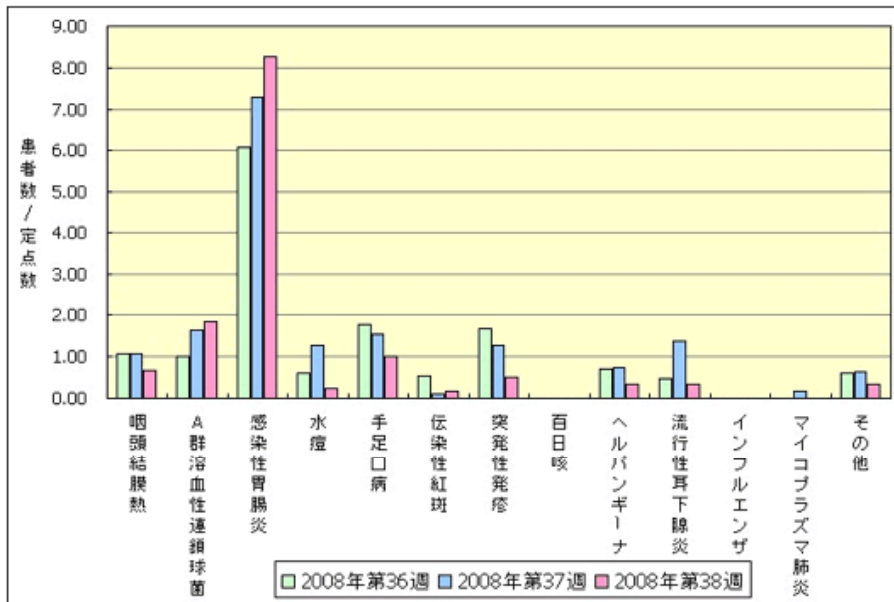
【今週の傾向】 今週は12定点からの報告です。

- 手足口病、流行性耳下腺炎は、全地域において先週より減少しました。
- 感染性胃腸炎は、昨年度同時期よりも少ない状況ですが、徐々に増加しており、特に中央・北部で多く見られます。

▢ [対象疾患ごとの発生状況](#)

▢ [小児感染症週報](#)

▢ [風しん・麻しん発生状況](#)



第38週疾患毎発生状況グラフ

	2008年 第33週	2008年 第34週	2008年 第35週	2008年 第36週	2008年 第37週	2008年 第38週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
咽頭結膜熱	27↓	13↓	15↑	14↓	12↓	8↓	1	1	4	2
A群溶血性連鎖球菌	14↓	13↓	20↑	13↓	18↑	22↑	10	5	5	2
感染性胃腸炎	76→	69↓	73↑	79↑	80↑	99↑	65	7	18	9
水痘	6↓	8↑	9↑	8↓	14↑	3↓	1	2	0	0
手足口病	19↓	19→	10↓	23↑	17↓	12↓	4	0	2	6
伝染性紅斑	4→	1↓	2↑	7↑	1↓	2↑	1	1	0	0
突発性発疹	14↓	11↓	16↑	22↑	14↓	6↓	2	1	1	2
百日咳	0→	1↑	0↓	0→	0→	0→	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	15↓	28↑	20↓	9↓	8↓	4↓	1	0	1	2
流行性耳下腺炎	10↓	16↑	14↓	6↓	15↑	4↓	0	0	4	0
インフルエンザ	0→	0→	0→	0→	0→	0→	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0→	1↑	4↑	0↓	2↑	0↓	0	0	0	0
その他	4→	12↑	2↓	8↑	7↓	4↓	3	0	1	0

第38週疾患毎発生状況表

第38週年齢別発生状況表

	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2
～11ヶ月	1	0	10	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
1歳	0	1	24	1	4	0	4	0	0	0	0	0	1
2歳	0	1	10	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1
3歳	1	2	11	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0
4歳	3	0	7	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
5歳	0	7	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6歳	0	2	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7歳	1	4	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8歳	1	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
9歳	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	1	1	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
10～12歳											0		
13～14歳											0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	8	22	99	3	12	2	6	0	4	4	0	0	4

第38週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所